

経済社会学会編

# 日本の経済社会は特異か

経済社会学会年報 XIII

1991

経済社会学会  
現代書館発売

## 目次

〈共通論題〉 日本の経済社会は特異か

近代化における西洋と非西洋——「日本の経済社会は特異か」について考える——

コメント

経済システムにおける特殊と普遍

コメント

東欧からみた日本の経済システムの長所と短所

——ポーランド・マゾヴェツキ政権の経済専門家との面談から——

コメント

総括・所見

〈自由論題〉

第三世代の人権——例としての The Common Heritage of Mankind——

DDIV (第四次国際連合開発年) への認識論的前提条件

——現行秩序が偶有的規定ではない事実に立脚する必要性に關連して——

会社は反社会的か? ——倫理的動機づけとルール決定——

経済発展の社会的アプローチ——K・ポランニーからC・ギアツへ——

文化の社会科学的分析——C・ギアツ文化分析の再構成——

組織コミュニケーションの日本の特質——同化作用の文化的差異——

マーシャルの産業組織論と進化論思想

社会階層と階層消費論

富永 健一……………	7	初川 満……………	82
服部 民夫……………	29	西山 俊彦……………	97
正村 公宏……………	33	佐々木實雄……………	108
今田 高俊……………	51	恩田 守雄……………	120
家本 博一……………	55	宇佐見義尚……………	133
福田 敏浩……………	69	若林 直樹……………	141
田村 正勝……………	74	橋本 昭一……………	151
		村本理恵子……………	162

インドにおける労働と経済の比較文化的考察——インドにおける近代的動労観の覚醒——  
 信仰形態と経済倫理——修養団奉誠会の事例——  
 社会保障の高齢者対策

高齢者の居住問題——要介護期を中心として——

〈自由投稿〉

昇進に与える勤続年数と査定の影響

〈翻訳〉

M・グラノヴェッター「経済社会学の今日的課題」

〈書評〉

永安 幸正著「経済学のコスモロジー」

J・シガードソン&A・アンダーソン著「日本の科学技術」(第二版)

C・N・マーフィ&R・トウーズ編著「国際政治経済学」

〈学会記事〉

〈経済社会学学会会則〉

〈編集後記〉

**編集後記**  
 数年前、ドイツを中心に「組織資本主義」から「脱組織資本主義」への移行が論じられた。いま、フランスを中心に、「蓄積体制」と「調整(レギュラシオン) 様式」を武器に様々な資本主義の歴史と形態を浮かびあがらせるレギュラシオン学派が、「フォーティズム」から「ポスト・フォーティズム」への転換を解明している。本号のテーマ「日本の経済社会は特異か」の関心が、こうした視点と通底しているのは間違いない。  
 (上沼正明)  
 学会の年報がその学会の公式な「年間活動記録」であることは、言うまでもない。この枠に飽くまで忠実でありながら、どこまで「本」としての美学を追求できるか。

さて、本号は学会員による投稿が「自由投稿論文」一本に留まった。当年報が、年次研究大会の記録を主な内容とすることはもとより異存はないのだが、それにしても、当年報への掲載希望者の少なさには、いささかショックを受ける。また本号には、新しい試みとして園田会員の翻訳・解説によるM・グラノヴェッター氏の論稿を掲載した。むろん、本邦初訳であり、その意義は深い。今号から「共通論題」総括の英訳を予定していたが、実現できなかった。学会年次研究大会での「共通論題」は、その学会員の知的状況を最も端的に示すものである。その意味で「共通論題」総括の英訳は、当学会が負うべき当然の義務である。この英訳によって、当学会年報はより多くの読者を獲得できる。次号では、ぜひ実現させたい。「学会記事」のうち、一九九〇年度総会議事録は、次号に掲載する。

当年報の出版を「現代書館」にお願いしてこの号が4冊目になる。これまでの3冊で、不慣れからの「出るべきミス」は全て出尽くした。この号が完璧に仕上がっていることを切に願うものである。

(宇佐見義尚)

日本の経済社会は特異か 経済社会学学会年報 XIII

1991年9月28日 初版第1刷発行

編者 経済社会学学会年報編集委員会  
 編集者代表 宇佐見 義 尚  
 発行者 富 永 健 一  
 〒305 つくば市千現1-20-38 学会事務センター気付  
 経済社会学会  
 電話(0298)52-8456

発売所 株式会社 現代書館  
 〒101 東京都千代田区三崎町2-2-12  
 電話(03)3261-0778 振替東京 2-83725

写植 一 ツ 橋 電 植  
 印刷所 平 河 工 業 社  
 製本所 越 後 堂 製 本

保坂 俊司……………	174
山田真茂留……………	184
井上 久子……………	195
伊東真理子……………	205
富田 安信……………	221
園田 茂人……………	231
東條 隆進……………	252
佐々木實雄……………	255
上沼 正明……………	261
〈学会記事〉……………	268
〈経済社会学学会会則〉……………	272
〈編集後記〉……………	275

経済社会学会 年報編集委員会

委員長 宇佐見 義尚

長尾 周也

上沼 正明

郡嘉 孝

園田 茂人

村上 綱実